



# 駿河台大学 同窓会報

第1号

発行

駿河台大学同窓会  
事務局

〒357-8555  
埼玉県飯能市阿須698

☎(0429)72-1101

ホームページ  
<http://www.surugadai.ac.jp>

## 駿河台大学同窓会報の 創刊に寄せて

駿河台大学 総長 山崎 春之



今年度は1987年度の開学から15年目を迎え、卒業生数も昨年度で約9,000名となりました。同窓会員の皆様におかれましては、益々ご活躍のことと思います。

本学の同窓会は平成6年に設立され、今年度で8年を経過し、会員数も増え、今後さらに発展していくことと思います。この度、同窓会報が発行されることとなり、会員相互の交流が広がり、また大学との結びつきがより強くなっていくことを期待しております。

さて、近年の少子化、18歳人口の減少や昨今の経済状況の悪化により、大学を取り巻く環境は非常に厳しくなっております。このような状況の中で、本学は新たな発展を目指し、開学時より「国際化、情報化社会に対応した人材の育成」を教育理念とするともに、特に近年の「IT技術の発展に伴う情報化社会への対応については、常に社会的動向を見守り、将来を見据えて各種事業を行ってまいりました。その一環として完成した「メディアセンター」は、学生諸君の圧倒的な支持を得ており、利用頻度も非常に高く、情報教育の新しい拠点として好評を得ております。

国際化社会への対応という面では、外国語教育の充実を目指して、CAI教育(パソコンによる自学、自習教育)の導入や交換及び派遣留学などの国際交流を推進しています。

また、平成12年度よりスポーツ振興委員会を設置し、スポーツ振興にも力を入れ、学内の活性化を図っております。この拠点として、部室約40室とともに軽食なども扱うラウンジを備えるクラブハウスが2月に完成しました。また、最新のトレーニング施設を備えたトレーニングセンターの設置も計画しており、近い将来、本学の運動部の活躍が会員のお耳に届くことを期待しております。今後とも文武両道の精神と本学の特色を十分生かした教育の充実に向けていく所存です。

先般行われた同窓会総会では、同窓会事業として、会報の発行のほかに「ホームカミングデーの実施」、「在学生への援助」、「同窓会支部会実施への援助」等の方針が打ち出されたこととごさいますが、これらの事業によって、本学を中心とした会員の皆様の和がさらに広がっていくことを望んでおります。

駿河台大学がさらなる発展を目指す上で、各方面でご活躍されている同窓会員の皆様、一人ひとりのお力が不可欠ですので、今後とも尚一層のご支援、ご協力を本学へ寄せていただきたくお願いいたします。



## 駿河台大学同窓会報の 創刊に寄せて

駿河台大学 学長 竹下 守夫



この度、駿河台大学同窓会では、新しく「同窓会報」を刊行することになったと聞き、同窓会の発展・充実の頭れと心からお慶び申し上げます。

皆さん方の母校駿河台大学は、まもなく開学満15年を迎えようとしています。はじめは法学部だけの単科大学でしたが、この15年の間に、次々と経済学部、文化情報学部、現代文化学部という3つの学部が新設され、また大学院も法学研究科、経済学研究科、文化情報学研究科の3つの研究科が創設されて、現在では、文字通り社会・人文科学系の総合大学となりました。卒業生の数も約9,000人に及び、1万人の大台に達するものもそう遠いことではありません。

同窓会は、もともと母校への帰属意識を高め、その支援をするともに、卒業生相互の親睦を図ることを、その役割とするといわれています。この役割を果たすために必要な情報を、大学と卒業生の皆さんとの間で、また卒業生の皆さん同士の間で相互に交換する媒体となるのが「同窓会報」だと思います。

明治時代に設立され、すでに100年以上の歴史をもつ大学では、伝統のある同窓会報が刊行され、会員の結束を固めて、同窓会が財政面でも母校の

強力な支援団体となっている例が少なくありません。しかし、本学のように新しく若い大学では、より精神面に重点をおいて、母校への帰属意識を高め、卒業生と母校との一体感に基づいて、ともに支援し発展して行くことを、目指したいと思えます。

そのために、この同窓会報を通じて、大学の近況をできるだけ卒業生の皆さんに知って頂くよう、さまざまな情報を提供したいと考えています。また卒業生の母校愛は、在学中に教室で受けられた授業・先生方との人格的触れ合い、課外活動などを通じて得られた交友関係など、どのくらい充実したキャンパス・ライフを過ごせたか否かにかかっています。学長として、これらのことにも十分意を用いて参りたいと思っておりますので、卒業生の皆さんも、駿輝祭の折をはじめ、時には母校を訪れ、後輩たちとの絆を強めて頂ければ有り難い次第です。また大学に対しても、折に触れて有益な提言をして下さるようお願い致します。

この機会にあらためて、卒業生の皆さんの多方面でのご活躍とご健勝をお祈り致します。

## 事務局からのお知らせ

同窓会事務局では、

1. 会員の住所管理
  2. 同窓会報の作成・発行
  3. 資金管理
  4. 総会・懇親会の運営
- 等の業務を行っています。これらの業務に関連して、次の方は事務局にご連絡ください。
1. 住所・氏名に変更があった方
  2. 同窓会報に寄稿したい方
  3. 支部会を組織したい方
- 特に2の同窓会報への寄稿につきましては、いつでも受け付けておりますので、よろしくお願ひします。連絡先は、

〒357 8555 埼玉県飯能市阿須 698  
駿河台大学同窓会事務局

TEL 0429 72 1101  
FAX 0429 72 1149  
E-mail [dousou@surugadai.ac.jp](mailto:dousou@surugadai.ac.jp)

# 同窓会報の発行に あたって

駿河台大学 同窓会長 金子 智彦



駿河台大学同窓会は、卒業生相互の親睦を図るとともに、母校と連携を保ちながら母校の発展に寄与することを目的に、平成6年11月に発足しました。これまでの間、母校の近況については、父母会からの多大なるご援助をいただき、駿河台大学ニュースを皆様にお送りすることでお伝えしてまいりました。昨年10月27日に開催しました平成13年度総会において、今後は同窓会報を年2回の予定で作ることが決定され、このたびここにその第1号を発行するにいたりました。これからは同窓会報を通して母校の今と卒業生の近況をお伝えしていきたいと思っております。

駿河台大学は、いまから15年前(昭和62年)に開学しました。その第1回の入学式において、初代学長故星川長七先生は、挨拶の中で次のように話されました。「最初のボタンをかけ違えると、後はすべて狂ってしまう。皆さんに、この大学のよき伝統をつくり上げてもらいたい。」15年の間に母校は大きく発展しました。第1回の卒業生は283人、平成13年の第11回の卒業生までを合わせると約9000人になります。これだけの卒業生が、全国で、あるいは世界で活躍していることを想像してください。今 私たち一人ひとりの立場やそのおかれている状況、それぞれの生活は決して同じではありません。しかし、かつて駿河台大学という学び舎で、共に過ごした「時」と「思い」をこれからも大切にしていけることで、それぞれの生活が少しでも潤いのあるものになれば、それは幸甚なことだと思えます。

さて、今後の同窓会の活動としましては、会報

の発行、総会にあわせて懇親会の開催、支部組織発足への援助、在学生支援に関する事業などを計画、実施してまいります。特に、これからは各地で支部組織発足への動きが活発に起きてくることを期待しております。昨年の総会後の懇親会の席で、ある会員の方から「地方の者にとっては駿河台大学が決まった時点から、飯能に来るまでが不安で仕方ない。新入生の情報などが事前に分かれれば、卒業生としてもぜひサポートしたい。」と有難い言葉をいただきました。また、平成16年の同窓会設立10周年に向けて同窓会名簿を作成することも計画してあります。

いずれにしても、若い同窓会であるだけに可能性は未知数であり、柔軟な発想で積極的に取り組んでいきたいと思っております。そして、卒業生相互の強固なネットワークづくりのために、皆様にはぜひともご理解とご協力をお願い申し上げます。また、とりまかせが会報の発行にあたり、挨拶とさせていただきます。

## 同窓会総会・懇親会に参加して

平成3年法学部卒・同窓会役員

白石 直哉

今年度は、3年ぶりに同窓会総会が開催されましたが、今回は同窓会報の発行や今後の具体的な事業計画が審議され、内容のあるものになりました。しかし、当日は、駿輝祭も開催されていたということもあり、会員の中には自分の所属していたゼミやサークルの出し物を訪れていた方も多く、総会への出席者はあまり多いとは言えませんでしたが、総会では、大学の現況報告や重要事項の審議を行いますので、次年度以降は、皆さんも同窓会活動に関心を持っていただき、ぜひ、総会に出席していただきたいと思えます。

総会の後に行われた懇親会では、多数の会員、教職員の出席があり、盛会となりました。私も久しぶりに顔を合わせた懐かしい友人と学生時代の話や現在の様子などを語り合い、楽しい時間を過ごしました。また、今後の同窓会活動について、支部会の組織化や大学との連携などの意見も寄せられ、非常に有意義なものとなりました。

来年度からは、年1度定期的に総会・懇親会を開催します。来年度は5月頃実施する予定です。是非、「ご出席ください。」

## 平成13年度 同窓会総会実施報告

### 1. 総会

平成13年10月27日(土)に平成13年度同窓会総会が3101教室にて開催されました。今年度は、会員の皆様に大学を訪れて、楽しいひと時を過ごしていただきたいというところもあり、駿輝祭にあわせての開催となりました。本同窓会は設立以来今年度で8年を経過し、会員数も約9000名となり、大変大きな組織になってまいりました。

総会は役員白石直哉委員長(平成3年 法学部卒)の司会のもと、竹下学長から大学の近況報告がなされた後、金子智彦同窓会長(平成3年 法学部卒)が議長に選出され、議事に移りました。議事では、平成13年度予算案、事業計画の審議がなされ、いずれも異議なく承認されました。

予算としては、収入の部で学友会費残高4500万円の同窓会資金への組入れ等、支出の部で同窓会報作成費、懇親会費等が承認されました。また、事業計画としては、年2回の同窓会報の発行、支部会開催の援助、準会員である在学生への援助等の基本方針が承認され、今後は、この計画に沿って同窓会活動の活性化を図っていくこととなりました。



### 2. 懇親会

総会終了後は、第2講義棟15階レセプションルームにおいて、懇親パーティーが開催されました。駿輝祭と同時開催ということもあり、ゼミやサークルの後輩の激励を兼ねて大学を訪れていた会員が懇親会には多数出席していただきました。パーティーには会員、教職員を含め160名程の出席があり、盛況のうちに行われ、多くの会員が旧友や恩師と再会し、旧交を温めていました。

今後も引き続き会員相互の親睦を深めるのは勿論のこと、在学生、母校への物心両面にわたる後援活動を積極的に進めていくことを確認し、閉会となりました。

(事務局)





平成13年度 同窓会役員名簿

|     |       |           |
|-----|-------|-----------|
| 会長  | 金子智彦  | (平成3年卒 法) |
| 副会長 | 高岡勇哉  | (平成4年卒 法) |
|     | 小山正人  | (平成6年卒 法) |
|     | 坂本修   | (平成5年卒 法) |
|     | 水林卓   | (平成6年卒 法) |
|     | 秋山武徳  | (平成6年卒 法) |
|     | 伊東亜由  | (平成6年卒 法) |
|     | 白石直哉  | (平成3年卒 法) |
|     | 鈴木賢仁  | (平成4年卒 法) |
|     | 佐藤直美  | (平成5年卒 法) |
|     | 廣原鉄太郎 | (平成8年卒 法) |
|     | 今福勝士  | (平成7年卒 法) |
|     | 笠井陽子  | (平成8年卒 法) |
|     | 石川正   | (平成8年卒 法) |

駿河台大学同窓会会則

(名称) 第1条 この会は、駿河台大学同窓会(以下「本会」といふ)と称し、事務局を駿河台大学内に置く。

(目的) 第2条 本会は、会員相互の親睦を図るとともに、駿河台大学(以下「母校」といふ)との連携を保ちながら、母校の発展に寄与することを目的とする。

(事業) 第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。  
 (1) 会員相互の親睦に関する事業  
 (2) 母校発展の援助に関する事業  
 (3) その他必要な事業

(会員) 第4条 本会は、次の会員によって構成する。  
 (1) 正会員 母校を卒業した者  
 (2) 準会員 母校に在籍する者  
 (3) 特別会員 母校に在籍する教職員  
 (4) 名譽会員 本会の運営に尽力し、発展に寄与して本会の名譽を高め、役員会において承認された者  
 (5) その他前号に準ずる者で、役員会において承認された者

(役員) 第5条 本会には次の役員を置き、役員会を構成する。  
 会長 1名 副会長 2名 会計 2名  
 委員 若干名 会計監査 2名 幹事 若干名

(役員選出) 第6条 役員は、次の方法により選出する。  
 (1) 会長、副会長、会計、委員及び会計監査は、役員会において正会員の中から選出し、総会の承認を求める。  
 (2) 幹事は、駿河台大学学生課職員の中から選出する。

(役員任期) 第7条 役員は任期は、2年とし、再任を妨げない。  
 2 補充または増員によって選任された役員は、現役員の残任期間とする。

(役員職務) 第8条 役員は、次のとおりとする。  
 (1) 会長は、本会を代表し、会務を統括する。  
 (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その任務を代行する。  
 (3) 会計は、本会の会計を担当する。  
 (4) 委員及び幹事は、本会の会務を審議する。  
 (5) 会計監査は、本会の会計を監査する。

(名譽役員) 第9条 本会には、次の名譽役員を置く。  
 (1) 名譽会長 1名  
 (2) 名譽顧問 1名

第10条 名譽役員は、次のように選出される。  
 (1) 名譽会長は、駿河台大学総長とする。  
 (2) 名譽顧問は、駿河台大学長とする。

(役員会) 第11条 役員会は、会長が招集し、本会の事業及び会計に関することを審議する。

(總會) 第12条 總會は、会長が招集し、本会の事業及び会計に関することを決定する。

(会計) 第13条 本会の経費は、会長と寄付金その他の収入をもって充てる。

(会費) 第14条 正会員及び準会員は、終身会費として2万円を納入するものとする。  
 2 会費の納入方法については、別に定める。  
 3 既納の会費及び寄付金は、如何なる理由があつても返還しない。

(会計年度) 第15条 本会の会計年度は、4月1日から始まり翌年3月31日終わる。

(地方支部) 第16条 本会に地方支部を設置することができる。  
 2 支部の規約は、別に定める。

(身上市動) 第17条 会員は住所、氏名、職業、勤務先等を変更したときは、速やかに事務局に連絡するものとする。

(改正) 第18条 本会則は、役員会の議を経た後に、總會の承認を以て改正することができる。

(委任事項) 第19条 本会則に定められたもののほか、本会の運営に必要事項は、役員会でこれを定めることができる。  
 付則 本会則は、平成6年11月6日から施行する。  
 付則 平成8年11月6日一部改正

平成13年度収支予算

(平成13年4月1日～平成14年3月31日)

(収入の部)

| 勘定科目        | 13年度予算額     | 12年度予算額     | 増減前年度      |
|-------------|-------------|-------------|------------|
| 前年度繰越金      | 110,227,874 | 81,385,809  | 28,842,065 |
| 会費          | 27,760,000  | 28,780,000  | 1,020,000  |
| 受取利息        | 100,000     | 0           | 100,000    |
| 小計          | 138,087,874 | 110,165,809 | 27,922,065 |
| 学友会費からの振り替え | 44,695,957  | 0           | 44,695,957 |
| 収入の部合計      | 182,783,831 | 110,165,809 | 72,618,022 |

(支出の部)

| 勘定科目   | 13年度予算額     | 12年度予算額     | 増減前年度      |
|--------|-------------|-------------|------------|
| 事業費    | 2,100,000   | 0           | 2,100,000  |
| 運営事務費  | 3,900,000   | 0           | 3,900,000  |
| 予備費    | 1,000,000   | 0           | 1,000,000  |
| 小計     | 7,000,000   | 0           | 7,000,000  |
| 翌年度繰越金 | 175,783,831 | 110,165,809 | 65,618,022 |
| 支出の部合計 | 182,783,831 | 110,165,809 | 72,618,022 |

同窓会支出予算項目内訳明細表

「事業費」内訳 (増減 は減を示す。単位：円)

| 勘定科目      | 13年度予算額   | 12年度予算額 | 増減        | 12年度実績額   | 備考             |
|-----------|-----------|---------|-----------|-----------|----------------|
| 同窓会会報作成費  | 600,000   | 0       | 600,000   | 1,054,060 | 12年度は父母会予算より支出 |
| 懇親会費      | 500,000   | 0       | 500,000   | 0         |                |
| 大学への卒業寄付金 | 1,000,000 | 0       | 1,000,000 | 1,000,000 | 12年度は学友会費より支出  |
| 計         | 2,100,000 | 0       | 2,100,000 | 2,054,060 |                |

「運営事務費」内訳 (増減 は減を示す。単位：円)

| 勘定科目   | 13年度予算額   | 12年度予算額 | 増減        | 12年度実績額   | 備考             |
|--------|-----------|---------|-----------|-----------|----------------|
| 郵送料    | 3,700,000 | 0       | 3,700,000 | 2,015,250 | 12年度は父母会予算より支出 |
| 総会通知印刷 | 100,000   | 0       | 100,000   | 0         |                |
| 雑費     | 100,000   | 0       | 100,000   | 0         |                |
| 計      | 3,900,000 | 0       | 3,900,000 | 2,015,250 |                |

今後の事業計画

1. 同窓会報の発行  
 昨年度までは駿河台大学ニュースを年2回発送していたが、今年度より同窓会報を年2回発行する。
2. 同窓会総会の開催  
 同窓会総会を年1回、5月、6月に開催する。懇親会も同時に実施する。
3. 支部会援助  
 各地区で支部会総会等を実施する場合の実施通知の発送等を行う。
4. 在学生援助事業  
 準会員である在学生を援助するために貸与奨学金制度及び給付奨学金制度を創設する。
5. ホームカミングデーの実施  
 駿輝祭において懇親会を実施する。
6. 同窓会10周年事業  
 同窓会設立10周年である平成16年に同窓会名簿を作成する。

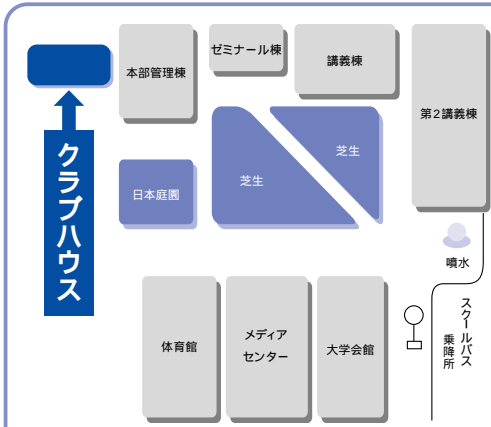


本部管理棟とJR八高線の線路を挟んだ敷地内に、平成14年1月末にクラブハウスが完成した。今までは体育館1階に部室が設置されてきたが、クラブ、サークル活動の新たな拠点とすべく、来年度からの運用を目指して建設された。

# クラブハウス 建設

クラブ、サークル活動の新たな拠点

## 駿河台 学内ニュース



らせん階段・吹抜



1階ラウンジ・レストラン

建物は地上2階建てで、延べ床面積は2,115㎡となる。開放的なイメージとなるように吹抜とらせん階段が用いられている。以下に各フロアの概要を紹介する。

**1階**  
部室(6室)。体育系団体の利用を考慮して洗濯室、物干場、シャワー室、器具庫を設置。また防音室が設置されるので音楽系団体による活用も期待される。その他、ラウンジ(40席)と軽食を扱うレストラン(135席)も用意される。

**2階**  
部室(38室)。ラウンジ(32席)。

なお現在部室として使用されている体育館1階部分には、スポーツ振興を目的としたトレーニングセンターの設置が計画されている。

### 来年度から単位互換制度実施へ

# 彩の国大学コンソーシアム設立

埼玉県西部にキャンパスを有する大学で構成する「彩の国(さいのくに)大学コンソーシアム(会長 清水司東京家政大学学長)の設立調印式が10月15日(月)に川越プリンスホテルにて開催された。当日はコンソーシアムに参加する17大学の学長等が顔を揃え、本学からは竹下守夫学長、大嶋利夫事務局長が出席した。

今回、この大学間友好交流協定に調印した大学は本学の他次の通り。跡見学園女子大学、埼玉医科大学、十文字学園女子大学、城西大学、尚美学園大学、女子栄養大学、西武文理大学、大東文化大学、東京家政大学、東京国際大学、東京電機大学、東邦音楽大学、東洋大学、文京女子大学、明海大学、立正大学。



協定に調印する竹下学長

埼玉県西部地域に所在する私立大学は、各々特色ある建学の精神に基づいて個性豊かな人材育成のために努力を重ねているが、社会の変化に対応するために大学相互の結びつきを強め、地域社

会との連携を深めることが必要であるとの認識から、この度「彩の国大学コンソーシアム」を設立することとなった。同様の取り組みは京都府、東京都多摩地区、千葉県等で既に行われているが、埼玉県内では初めてとなる。今春から各大学の調整が進められてきたが、当初は17大学の参加を得て協定調印の運びとなった。今後新たな大学、短期大学の参加も期待される。具体的な活動分野としては、単位互換制度をはじめとする教育交流、合同ゼミナールや共同研究を行なう研究交流、学生団体の交流、合同研修等の教職員交流、公開講座の共同開催等の地域交流、コンソーシアムの活動をPRする合同ホームページの作成等を予定している。設立当初は、まず、来年度からの実施を目指して単位互換協定分科会と公開講座分科会が定期的に開催され、検討を重ねている。特に、学生の幅広い視野の育成と学習意欲の向上のためには、単位互換制度の早期実現が急務との認識から各大学間の調整作業が急ピッチで進められている。単位互換制度が導入されると、協定に参加する大学の学生が必要なる手続きを経て相互に他大学の授業科目を履修し、その成績を受け入れ他大学が所属大学に報告する。そしてその報告に基づいて所属大学が単位認定を行うこととなる。学生が相互に他大学の科目を受講したり、他大学のキャンパスを体験することは、学生自身はもとより各大学にとっても大いに刺激となるものであり、早期実現が待たれる。





# オーバーナイトウォーク実施報告

オーバーナイトウォーク実行委員会会長 文化情報学科 3年 浦山 大

6月2日(土)、3日(日)にかけて今年で第10回目になるオーバーナイトウォークが開催されました。オーバーナイトウォークといえば大学のパンフレットにも載っているほど有名で伝統があります。東京の池袋西口公園を深夜に出発し、駿河台大学までの50kmの道のりを半日かけて歩く学生主体のイベントです。

6月2日(土)、池袋西口公園。6月ということもあり天候が心配でしたが、無事晴れて当日を迎えることができました。そして気がかりだった人数も、ふたを開けてみれば72名という多くの参加者に恵まれました。

池袋西口公園を深夜11時半に出発し、川越街道を西に向かって歩き城北中央公園に午前0時半、光が丘公園に午前2時頃に到着し、午前4時頃には川越街道沿道の最終終由地点の野火止公園で夜明けを迎えました。そこからしばらく上水道脇の遊歩道を歩き午前6時頃に滝の城址公園に到着。途中参加者が待つ所沢航空記念公園には予定時刻通りの午前8時に到着し朝食を摂りました。

## 卒業生は今

### 近況報告

平成11年文化情報学部文化情報学科卒

滝島 朝昭



「卒業生は今」ということで、記念すべき第一回の同窓会報に、先輩方を差し置いて私などがここに文章を書くとするのは大変おこがましいのですが、私の簡単な自己紹介と、近況報告などをさせていただきます。

ちょうど4年前の98年3月に、文化情報学部文化情報学科観光情報コースの一期生として駿河台

日曜日は日が昇るにつれ徐々に暑くなり、最高気温は28度にも達したそうです。そのような中さすがにペースは落ちてきたものの午後3時半、無事全員が駿河台大学に到着しました。全体で記念撮影を行なった時、カメラ越しに見る参加者の表情は日に焼け、16時間歩いた疲労感は隠せませんでした。それ以上に達成感と充実感に満ち溢れていました。

参加するだけでも大変なオーバーナイトウォークですが、運営する立場に立って改めてこのイベントの素晴らしさというものが分かりました。スタッフ、教職員の方々の協力によって今回のオーバーナイトウォークも無事成功を納めることができたのだと思います。そして、その結果として72名もの学生・OB・教職員が参加したというのはまぎれもない事実です。

最後に、ご支援ご協力くださいました教職員ならびにOBの皆様、本当にありがとうございました。(つらやまだい)

富山県立入善高校出身

このような仕事の多くは、自分自身の足で見つけ出してきたもので、私どもの会社は営業・企画・手配・添乗・精算をすべて自分でやらなければならぬため、必然的にすべてを知っている必要はなりません。やはりそういつたときに勉強になるのは添乗業務です。添乗と聞くと仕事とはいえず、ただでいるところに行けてつらやましいと思う方もいると思います。実際海外・国



## 卒業生は今

### 10年ひと昔

平成4年法学部法律学科卒

芦野 訓和



2001年 青。法学部を卒業してから9年ぶりに駿河台大学に戻ってきた。

しかも、教員としてである。新任にしていきなり2つの講義と3つのゼミを担当させられることとなり、改めて自分が学生時代の頃を振り返ってみた。すると、とても今の教員には真実を伝えられないことが分かり、思わず苦笑いしてしまっ。学生には伝えられないので、ここにこそ「記す」とする。なんといつても学校には来なかつたし、来ても授業にはほとんどせずにテニスをするか(体育の大貫先生と久しぶりにあったときにかげられた言葉は「芦野またテニスをやるか」だった)、食堂の二階でたばこを吸いながら友達としゃべるかだった。そんな僕が、1年生の必須科目である「民法総論」の授業を持ち、毎回出席をとっているのはなんだが自己矛盾のような気がする(と書いても全部欠席してもテストさえできれば単位は与えらる」と宣言しているが)。しかし、言い訳がましいのは承知の上で書くならば、当時の大学は枠からはみ出たようなバイタリティにあふれた学生であふれていたし、授業以外でも、「勉強をする」という雰囲気も少しは濃っていたような気がする。

創立15年を迎えて、大学も大きくかわろうとしている。そんな中、卒業生のみんなの力を借りることができれば、大変心強い限りです。

内問わず色々なところに行きましたが、やはり仕事なので楽しむわけにも行かず、それはそれでストレスもたまりますが、色々な所に行っているわけですから、やはりいい仕事なのかもしれません。ただ、今の旅行業界はそんなに面よりも、厳しい現実が目の前に立ちふさがっており、皆様もご存知の昨年9月11日の米国同時多発テロ。その騒ぎが少し落ち着いたかと思つたら今度は、田安と海外旅行を中心にさらに厳しい状況が待っており。そんな今の情勢ですが、やはり旅行というものには多くの方が行きたいと思つていると思ひますし、決してなくなるものでもないと思つております。また、人に夢を売る商売で、そして自分自身でもやりたいことをやっておりますので、何とかこの状況を早く突破して、もっともつといい旅行を紹介していきたいと思ひます。

簡単に私の卒業してからをまとめてみました。ほかの卒業生の方も色々大変な方もいると思ひます。でも、お互いに駿河台大学の卒業生としてがんばっていただきたいと思ひます。

# 駿河台 スポーツニュース

## 剣道部の快進撃続く

### 剣道部 第34回埼玉学生剣道優勝大会男子団体戦・個人戦優勝 第7回埼玉女子学生剣道選手権大会個人戦準優勝の快挙

昨年11月25日(日)、県立鶴ヶ島高校にて開催された同大会(主催・埼玉学生剣道連盟)において、本学剣道部は、男子団体戦・個人戦で優勝、女子個人戦で準優勝という快挙を成し遂げた。

### 男子団体戦

1チーム9名中7名(補欠2名)総当たりのトーナメント戦で、まず県内13大学がA・Dの4ブロックに分かれて、予選リーグが行われた。Cブロックに入った本学の初戦の相手は、強豪の立正大。大将戦までもつれる接戦の末、2勝1敗4分で辛勝すると、続く獨協大戦を4勝2敗1分で勝利し、予選Cブロックを突破。準決勝では、本大会最多優勝回数を誇る城西大と対戦。3勝2敗1分と僅差で勝利すると、決勝の対平成国際大戦では先鋒から4連勝して早々に優勝を決め、結果5勝2敗と堂々たる戦果を残した。本学は、本大会団体戦初優勝。

主将 佐藤信彦(法学部2年)  
栃木県立大田原高校出身の話

初戦の対立正大戦が最も苦しかった。結果的に、初戦を乗り切ったことでチームがうまくまとまり、勢いがついたと思ふ。今後、関東学生剣道優勝大会や全日本学生剣道優勝大会へ向けて、弾みにしていきたい。

### 男子個人戦

本学から8名がエントリーした中、法律学科2

年黒澤尚希君(くろさわなおき・私立水戸英陵高校出身)が総勢10名のトーナメント戦を制した。本大会で本学からの個人戦優勝は、黒澤君が初めて。黒澤君自身は、昨年6月の新人戦大会と本大会ともに団体戦で大将を務め、いずれも本学を優勝に導いている。

黒澤君の話  
全6戦1つ1つに集中するよう努めた。今後は、全日本学生剣道選手権大会に連続出場し、昨年(3回戦進出)より1つでも上位をねらいたい。

### 女子個人戦

本学女子部員4名がエントリーした中、法律学科2年石川祐子さん(いしかわゆづこ・私立文化女子大学附属杉並高校出身)が、総勢40名のトーナメント戦で準優勝と健闘した。本大会で本学からの女子個人戦入賞は、石川さんが初めて。石川さんには、1年次に全日本女子学生剣道選手権大会への出場経験がある。

### 石川さんの話

準決勝で高校時代に負けている相手に雪辱を果たし、決勝で全国レベルの胸を借りることが出来た収穫は大きい。今後の飛躍につなげたい。



### アカスポーツクラブ(カヌー)の加藤哲平君、みやぎ国体で第5位入賞



第56回国民体育大会(みやぎ国体)夏季大会のカヌー競技が、9月8日(土)11日(火)鳴瀬川カヌースラローム・ワイルドウォーター競技場において行われ、法律学科1年加藤哲平君(かとうてつぺい・私立中京高校出身)がスラローム男子カヤックシングルに岐阜県代表として出場し、第5位入賞を果たした。

今大会には、各地区ブロックの出場枠を巡って都道府県代表により行われた予選を突破した30名の選手が出場した。加藤君は、全国でも有力・激戦の東海地区(静岡・愛知・岐阜・三重)の4県出場枠3名)で第2位に入り、出場権を獲得していた。競技は、ファーストラン・セカンドランの合計タイムをポイント換算して競われ、ポイント数の

### 本学硬式野球部と駿台甲府高校硬式野球部との交流親善試合行われる

11月18日(日)、本学野球場において、本学硬式野球部と系列校である駿台甲府高校(山梨県)硬式野球部との初の交流親善試合が行われた。

今回の交流試合は、8月末に本学野球場のグラウンド整備(内野)が完成したことを受け、そのお披露目として、駿台甲府高校からの申し出もあって実現した。

駿台甲府高校硬式野球部は、山梨県内ではその実力が常に上位レベルにあり、当日は、監督・部員の他、熱心な父母の参加もあって、総勢32名での来校となった。午前10時半フレイボールで始まった試合は、金属バットと木製バットの違いもあったが、4対0で駿台甲府高校の勝利。新しいグラウンドはコンディショニングの悪かった内野部分に、焼土と、通常の砂よりも比重の重いインド産ガーネットサンドを敷いたため、土が飛び散りにくく選手達にも大変好評だった。

昼食の後、午後1時半より、場所を学内の会議室に変えて、懇談会が行われた。本学から大嶋事務局長、駿台甲府高校から白倉副理事長の挨拶で

少ない者が上位となるが、旗門(ゲート)への接触が1回につきプラス2秒、旗門不通過が1回につきプラス50秒というペナルティが課される。ファーストラン終了時点で、加藤君は接触1回でまとめ2位にランクされたが、セカンドランでは接触こそ1回にとどめたものの、途中のタイムロスが響いて、惜しくも優勝には届かなかった。

加藤君は、元国体選手の父親の指導のもと、小1からカヌーに乗り始め、小3から本格的に競技に取り組んできた。昨年は、18歳以下で行われたジュニア世界選手権の日本代表にも選ばれている。一般の日本代表は、年4回のジャパンカップ上位30名が出場する日本選手権の上位10名と、翌春のNHK杯(全日本選抜大会)との総合評価で、その上位4名が選出される。

加藤君は、ここまでジャパンカップを3戦終えて、2位にランクされている。ここで日本代表の座を射止め、国際大会の経験を積み、2年後のアテネ五輪日本代表も夢ではない。今後の活躍を大いに期待したい。

始まった会は、本学熊田教授(野球部顧問)と駿台甲府高校坂本監督による、それぞれのチームの現況と、各選手の紹介がなされていくに従い、談笑も交じり、次第に和やかな雰囲気となっていく。続いて、坂本監督の進行で野球談義が行われた。坂本監督から、高校生に率直なアドバイスをお願いしたい、との発言を受け、本学野球部員は試合中につかんだ相手の弱点的指摘や、今後の練習への取り組み方等、今回の試合を通じて感じた様々な意見を発表しながらも、甲子園を目指す後輩達にしっかりとエールを送っていた。本学野球部OJ(元主将)で現在工学部大学院野球部監督の町田直樹さん(92年度法卒)も当日は試合観戦から参加しており、席上で両チームにエールを送った。

初の試みとなった今回の交流親善試合が、系列校としての絆を深め、今後の相互のレベルアップにつながることを期待したい。



白熱した試合風景



交流の輪が広がった野球談義



(7)

駿河台大学 同窓会報 第1号

平成14年2月28日

### 女子学生の活躍光る

#### 女子ホッケー部

#### 関東学生ホッケー連盟女子1部に昇格決定

春季リーグ戦2部を4戦全勝で優勝した本学女子ホッケー部は、6月10日(日)慶應義塾大学白吉ホッケー場にて、1部6位の東洋英和女学院大学と入替戦で対戦し、10対0で見事勝利を収め、1部への昇格を決めた。

本学は、1チーム試合出場者11名に対して部員数12名と少なく、しかも怪我人もいて、決して万全のチーム状態ではなかった。しかし、持久戦を避け、序盤からの先制攻撃を作戦としたのが功を奏し、チームに勢いがついた。

同部は、平成11年創設の後、翌12年に同連盟に加盟して以来、春秋3季連続無敗で昇格を果たし、今後はいよいよリーグの頂点を目指すこととなる。

1部には、平成6年秋季からリーグ戦14連覇中の山梨学院大を筆頭に、東京農大、早稲田大、学習院大、法政大と強豪が揃う。そんな中、目下連勝を続ける新鋭の本学は、1部リーグの「台風の目」になりそうである。その健闘を期待したい。

#### 第3回女子フロアボール世界選手権に本学より4名出場 大会初勝利を挙げる

5月20日(日)～27日(日)、ラトビア共和国の首都リガ市で、第3回女子フロアボール世界選手権が開催され、日本代表チーム23名の中に本学ユニバーサルホッケー部より知情報学科3年平山恵美里(長野県立諏訪二葉高校出身)、同3年山本なつみ(都立保谷高校出身)、同2年桜井麻由(埼玉県立春日部東高校出身)、比較文化学科2年名越奈都子(道立苫小牧西高校出身)の4名が選出され、出場した。

大会は、男女隔年で開催され(昨年はノルウェーのオスロで男子大会が開催され、本学から8名が出場)、世界16カ国をランク順にA・B各8カ国の2ディビジョンに分けて、それぞれの中で順位決定戦を行った。日本はBディビジョンに所属し、

主将 岡本由香さん(経済学科3年・埼玉県立飯能高校出身)の話

1つの目標に向かい皆が一致団結できるのが、このチームの長所。今後はいよいよ1部で戦うことになるが、優勝を目指し、今からしっかりとチームのコンディショニングを作りたい。

ロシア、イギリス、シンガポール、オーストラリアと対戦し、2勝2敗でBディビジョン第5位。今大会で、日本女子は大会初勝利を挙げる快挙。出場した4名の中から、山本さんにコメントをもらった。

#### 山本なつみさんの話

初めて世界レベルの試合を経験した上に、勝利できてとても嬉しい。フロアボールという競技に対する考え方も広がった。今後、もっと競技を続けていきたい。

リガ市内にて。左から桜井さん、平出さん、名越さん、山本さん。

## 体育系公認団体 秋期戦結果

#### 【サッカー部】

埼玉県大学サッカー連盟  
秋季1部リーグ

|           |                         |       |        |
|-----------|-------------------------|-------|--------|
| 9/9 (日)   | 本学                      | 3 - 1 | 武蔵丘短期大 |
| 9/16 (日)  | 本学                      | 4 - 0 | 淑徳大    |
| 9/23 (日)  | 本学                      | 2 - 0 | 文教大    |
| 9/30 (日)  | 本学                      | 0 - 1 | 尚美学園大  |
| 10/7 (日)  | 本学                      | 2 - 2 | 城西大    |
| 10/14 (日) | 本学                      | 4 - 0 | 埼玉大    |
| 10/21 (日) | 本学                      | 5 - 1 | 獨協大    |
| 全成績       | 5勝1敗1分(リーグ8チーム中第3位)1部残留 |       |        |

#### 【硬式野球部】

東京新大学野球連盟  
2部秋季リーグ戦

|           |                       |        |            |
|-----------|-----------------------|--------|------------|
| 9/15 (土)  | 本学                    | 5 - 1  | 東京理科大      |
| 9/22 (土)  | 本学                    | 1 - 2  | 日本大生物資源科学部 |
| 9/23 (日)  | 本学                    | 1 - 7  | 工学院大       |
| 9/24 (月)  | 本学                    | 6 - 0  | 電気通信大      |
| 9/30 (日)  | 本学                    | 1 - 4  | 日本工業大      |
| 10/7 (日)  | 本学                    | 10 - 2 | 日本大生物資源科学部 |
| 10/13 (土) | 本学                    | 7 - 0  | 電気通信大      |
| 10/14 (日) | 本学                    | 6 - 7  | 東京理科大      |
| 10/20 (土) | 本学                    | 4 - 0  | 工学院大       |
| 10/27 (土) | 本学                    | 4 - 6  | 日本工業大      |
| 全成績       | 5勝5敗(リーグ6チーム中第4位)2部残留 |        |            |

#### 【弓道部】

関東学生弓道連盟  
第33回秋季リーグ大会

|                   |                      |         |        |
|-------------------|----------------------|---------|--------|
| <男子中ブロック(埼玉・千葉)部> |                      |         |        |
| 9/16 (日)          | 本学                   | 76 - 88 | 千葉工業大  |
| 9/30 (日)          | 本学                   | 74 - 81 | 麗澤大    |
| 10/7 (日)          | 本学                   | 68 - 59 | 淑徳大    |
| 10/14 (日)         | 本学                   | 68 - 98 | 東洋大工学部 |
| 全成績               | 1勝3敗(中ブロック部5チーム中第4位) |         |        |
| <女子中ブロック(埼玉・千葉)部> |                      |         |        |
| 9/30 (日)          | 本学                   | 34 - 24 | 女子栄養大  |
| 10/7 (日)          | 本学                   | 27 - 14 | 東洋大工学部 |
| 10/14 (日)         | 本学                   | 32 - 40 | 文教大    |
| 10/21 (日)         | 本学                   | 31 - 30 | 千葉工業大  |
| 全成績               | 3勝1敗(中ブロック部5チーム中第2位) |         |        |

#### 【女子ホッケー部】

関東学生ホッケー連盟  
秋季リーグ女子1部

|           |                         |       |       |
|-----------|-------------------------|-------|-------|
| 9/15 (土)  | 本学                      | 0 - 0 | 学習院大  |
| 9/29 (土)  | 本学                      | 4 - 0 | 早稲田大  |
| 10/7 (日)  | 本学                      | 0 - 1 | 東京農工大 |
| 10/20 (土) | 本学                      | 0 - 8 | 山梨学院大 |
| 10/28 (日) | 本学                      | 3 - 0 | 法政大   |
| 全成績       | 2勝2敗1分(リーグ6チーム中第3位)1部残留 |       |       |

#### 【男子バレーボール部】

関東大学バレーボール連盟  
男子8部秋季リーグ

|          |                       |       |       |
|----------|-----------------------|-------|-------|
| 9/16 (日) | 本学                    | 1 - 3 | 東京農工大 |
| "        | 本学                    | 1 - 3 | 文教大   |
| 9/23 (日) | 本学                    | 3 - 2 | 電気通信大 |
| "        | 本学                    | 1 - 3 | 明海大   |
| 9/30 (日) | 本学                    | 2 - 3 | 横浜市立大 |
| "        | 本学                    | 1 - 3 | 一橋大   |
| 10/7 (日) | 本学                    | 0 - 3 | 群馬大   |
| 全成績      | 1勝6敗(リーグ8チーム中第6位)8部残留 |       |       |

#### 【ラグビー部】

関東大学ラグビー連盟  
秋期リーグ戦6部

|           |                   |         |       |
|-----------|-------------------|---------|-------|
| 10/7 (日)  | 本学                | 不戦敗     | 横浜商科大 |
| 10/14 (日) | 本学                | 不戦敗     | 桜美林大  |
| 10/28 (日) | 本学                | 不戦敗     | 朝鮮大   |
| 11/4 (日)  | 本学                | 不戦敗     | 文教大   |
| 11/18 (日) | 本学                | 22 - 60 | 明星大   |
| 11/25 (日) | 本学                | 不戦敗     | 和光大   |
| 全成績       | 0勝6敗(リーグ7チーム中第7位) |         |       |

#### 【アメリカンフットボール部】

関東大学アメリカンフットボール連盟  
エリアリーグCブロック(東京エリア)

|           |                   |        |       |
|-----------|-------------------|--------|-------|
| 9/30 (日)  | 本学                | 0 - 56 | 東京国際大 |
| 10/13 (土) | 本学                | 不戦敗    | 都立大   |
| 10/28 (日) | 本学                | 6 - 20 | 電気通信大 |
| 11/25 (日) | 本学                | 不戦敗    | 亜細亜大  |
| 全成績       | 0勝4敗(エリア5チーム中第5位) |        |       |

#### 【アクアスポーツクラブ】

9/8(土)～11(火)

第56回国民体育大会(みやぎ国体)夏季大会  
スラローム男子K-1 第5位 加藤哲平(法律学科1年)

#### 【少林寺拳法部】

9/15(土)

飯能市主催第55回飯能市市民体育祭少林寺拳法大会  
二段の部 第2位 高柳知史(経営情報学科3年)  
廣瀬智章(法律学科3年)ペア  
初段の部 第2位 黒澤修一(法律学科3年)  
長久保智成(経済学科2年)ペア  
単独演武の部 第1位 江本曉則(法律学科3年)  
第3位 生田目裕(文化情報学科1年)  
第5位 保谷和樹(知情報学科1年)

